令和８年度　　彦根翔西館高等学校　学校評価

本年度の重点目標

○幅広い教養と高い学力、専門的知識・技能を習得させ、一人ひとりの希望進路を実現できるよう取り組む。
○あいさつ、礼儀正しいふるまいなど規律のある学校生活をもとに、健全な心身の育成と人権尊重の態度を育成する。
○生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけ、深い学びに到達できる学習活動に取り組む。
○部活動や学校行事をより一層充実させるとともに、学校教育活動全体を通して健康や安全に対する意識を高め、明るく元気な学校づくりに取り組む。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	生徒一人ひとりの能力を伸ばす教育を展開し、全職員が協働体制をとって魅力ある学校づくりを進めている。	A		
	生徒や保護者、地域の期待に応え、教育目標に基づき、信頼される学校経営に努めている。	A		
2　学習指導	学習意欲を向上させるために、生徒が主体的に取り組む授業を実施するなど指導内容・指導方法の工夫・改善に努めている。	A		
	「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」で、課題設定や情報収集、表現する力が身につくよう指導している。	B		
3　生徒指導	規律ある生活習慣の確立と規範意識の高揚を目指し、きめ細かな指導を行なっている。	A		
	社会規範や集団の一員としての資質を培い、共に支えあい成長できる生徒集団づくりに努めている。	A		
	いじめの未然防止・早期発見に取り組み、生徒が安心できる学校づくりを進めている。	A		
4　進路指導	早い時期から系統的な進路指導・ガイダンスの充実に努め、模擬試験の実施などを通して、高い目標に向かうチャレンジ精神の育成に努めている。	A		
	補習授業・小論文指導・面接指導の充実に努め、各種検定試験の受験を奨励するなど、きめ細かい指導を行っている。	A		
5　特別活動等	部活動の活性化を積極的に図り、生徒の人間力育成を目指すよう取り組んでいる。	A		
	学校行事や生徒会行事では、生徒が主体的に取り組めるよう工夫している。	A		
6　学校図書館	総合学科の特性を踏まえ、教科学習に必要な資料の充実を図っている。	A		
	「図書館だより」の発行や図書委員による掲示物作成、オンラインでの蔵書検索システムの整備などを通して、図書館の活用促進に努めている。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努め、健康意識を高める指導を行っている。	A		
	教育相談・特別支援教育体制の充実を図り、個に応じた組織的な対応に努めている。	A		
	地震や火災などの災害に対する危機管理意識を高め、非常事態を想定した防災訓練に取り組んでいる。	A		
8　人権教育	一人ひとりの生徒を大切にし、生徒の人権を尊重する姿勢で教育にあたっている。	A		
	学年別に人権教育目標を掲げ、教科の授業や講演会・研修会などを通して人権教育を計画的に推進している。	A		
9　環境教育	毎日の清掃活動を徹底し、ゴミの分別・減量、節電等省エネなど環境美化活動を推進している。	B		
	学校周辺や地域の清掃活動をとおして、ボランテイア活動への参加に取り組んでいる。	C		
10　事務・管理	施設・設備・備品等の定期的な点検を行い、適切な維持・管理に努めている。	A		
	個人情報の取り扱いや校内外の防犯・防災対策など危機管理への対応を常に図っている。	A		
11　その他 学校の取組	本校の「探究系列」「スポーツ科学系列」「家庭科学系列」「会計ビジネス系列」「情報システム系列」５系列の充実・発展に向けた取組を推進している。	A		
	地域に根ざした教育活動と情報発信等、開かれた学校づくりに努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（９月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：https://www.shoseikan-h.shiga-ec.ed.jp/